

# 防犯フィルム

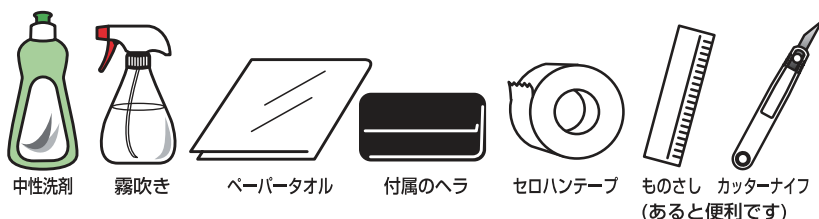
UV加工で紫外線もカット!!

泥棒のガラス破りや災害による飛散を防止

## 特徴

- 窓ガラスに貼るだけでガラスを強化し泥棒の破壊侵入を困難にします。
- 地震・暴風などの災害や事故による窓ガラスの飛散を防止します。
- UV加工により紫外線をカットします。
- 通常の取り扱いや清掃ではキズがつきません。

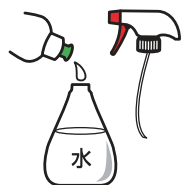
## 用意していただくもの



## フィルムの貼り方

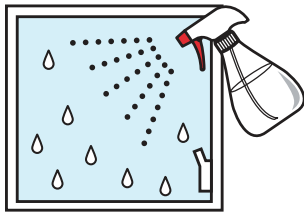
★必ずフィルムは室内側に貼って下さい。

1.

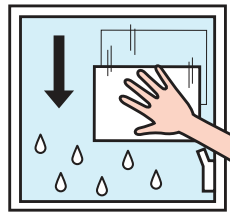


水道水200ccに対し中性洗剤を1〜3滴入れた水溶液を作ります。

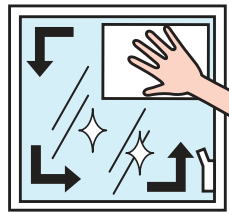
2.



水溶液をガラス面(室内側)に吹き付けきれいにします



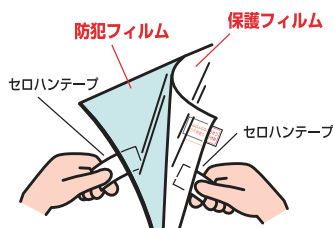
ペーパータオルで方向に汚れを拭き取りガラス面を乾かします。



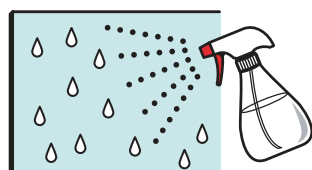
窓枠の汚れははがれの原因となりますので丁寧に拭き取ります。

**ポイント**  
固くこびりついた汚れはガラス面を傷けないように注意してカッターナイフで削り落として下さい。

3.

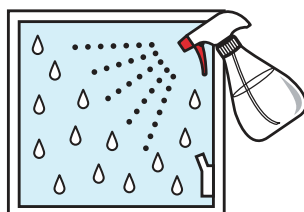


シールの付いた方の保護フィルムをはがします。  
※保護フィルムをはがす時は一定の速度でかして下さい。  
保護フィルムを貼り直し等した時は、粘着面に気泡の跡が残る場合があります。  
(互いのセロハンテープがくっつかないようフィルムの両面に貼り、外側に向けて引っ張るとはがしやすくなります。)



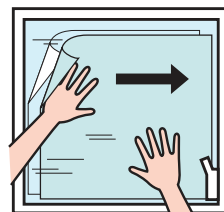
保護フィルムをはがした防犯フィルムの粘着面に少し水溶液を吹き付けます。

4.



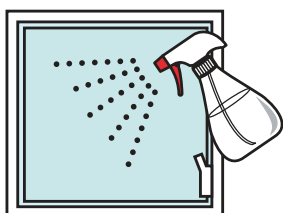
再度、水溶液をガラス面にまんべんなくたっぷりと吹き付けます。

5.



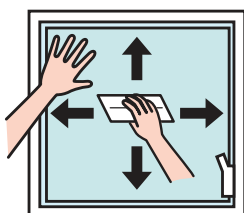
フィルムの位置を合わせ貼付けます。  
鍵受け部分は横からすべりこませるように貼り付けます。

6.



フィルムの表面全体に水溶液を吹き付けます。

7.



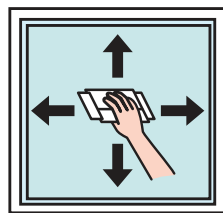
フィルムを軽く押さえながら付属のヘラで中心から外に向けて水と空気を押し出し、フィルムを圧着します。  
圧力により粘着力が高まる特殊な接着剤を使用しておりますので、多少力を入れて数回圧着して下さい。

**ポイント**



ヘラでは圧着のやりにくい鍵受け部分はものさしなど、薄いものを利用して下さい。

8.



ヘラにペーパータオルを巻いてもう一度圧着します。

**ポイント**

貼り付け後、水や空気が完全にぬげきらず部分的にフィルムが浮いた状態になることがありますが自然に消えますのでそのまま水溶液が完全に乾燥するまで放置して下さい。(約24時間)

※フィルムをはがす場合は、ドライヤーで暖めながらカッター等で方向に筋(5〜10mm間隔)をいれてはがして下さい  
接着剤がガラス面に残った場合は水溶液を吹き付け約5分間放置しヘラで取り除いて下さい。(カッターをご使用の場合はガラス表面にキズ等つかないようにご注意下さい。)

## ★プロからのアドバイス★

- ・フィルムの乾燥時間は春・夏/約2週間 秋・冬/約3週間程かかります。
- ・水溶液を使い、ガラス面を洗浄する際ゴムヘラを使用されますと尚、きれいに洗浄する事が出来ます。

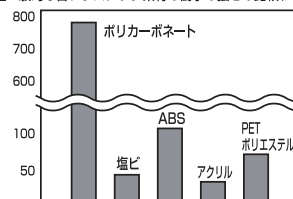
## ★付属の防犯シールは★

- ・外から目立ちやすいガラス面に貼り付けて下さい。防犯効果がアップします。

## 使用上の注意

- フィルムは必ず室内側に貼って下さい。
- キズやヒビのあるガラスには使用しないで下さい。
- アルカリ系、アンモニア系、塩素系、有機系洗剤は使用しないで下さい。
- フィルム表面が汚れた場合は柔らかい布で拭き取るか落ちにくい場合は中性洗剤をお使い下さい。
- 研磨剤や洗浄ブラシは表面を傷つけますので使用しないで下さい。
- 他のステッカーやフィルムの上からは貼らないで下さい。
- 作業の際、フィルムの端で手などを切らないよう十分注意して下さい。
- フィルムを折ったり曲げたりしないで下さい。
- フィルムに巻きグセがついている場合は、直してからお使い下さい。

■一般的な各プラスチック素材の衝撃の強さの比較(アジット衝撃強さ測定法)■



■一般的な各プラスチック素材の機械的性質■

| 項目     | 試験法        | 単位  | ポリカーボネート | ABS       | PET       | ポリエステル    | ガラス |
|--------|------------|-----|----------|-----------|-----------|-----------|-----|
| 引張り強さ  | ASTM D 638 | MPa | 63.7     | 64.7~71.5 | 70.6~75.5 | 32.3~79.4 |     |
| 伸び     | ASTM D 638 | %   | 85       | 10~20     | 4~7       | 3         |     |
| 圧縮強さ   | ASTM D 695 | MPa | 81.3     | 68.6      | 15.6~24.5 | 19.6~29.4 |     |
| 曲げ強さ   | ASTM D 790 | MPa | 93.1     | 88.2~98.0 | 108~118   | 39.2~78.5 |     |
| アーク耐熱性 | ASTM D 256 | J/m | 780      | 29.4~39.2 | 19.6~29.4 |           |     |

※各素材3mm厚の場合のデータです。

本商品は窓ガラスを強化し窓ガラスからの侵入を困難にさせる事が目的とされているため、すべての侵入を防止するものではありません。  
災害・盗難が万一発生した場合、及び施工不良による事故などの損害につきましては責任をおいかねますので、ご了承下さい。

株式会社 光  
TEL:06-6768-2261  
MADE IN JAPAN

